



創徳中学校通信

こうくじんけん 校区人権フォーラム開催

1月16日(金)に飯野小、清和小、牧田小の6年生を中心とした各校代表児童6名と創徳中の1年生代表生徒8名が創徳中に集まり、校区の人権フォーラムが開催されました。人権フォーラムでは、人権課題を明らかにするとともに、こどもたちが主体的に自らの体験や考えを出し合う「出会い・発見」の場とし、差別をなくそうとする人権尊重の精神を高め合う機会としています。集まった児童生徒たちは3グループに分かれ、自己紹介、クイズなどで打ち解け合ったあと、【仲間とつながるには・言葉の使い方】をテーマに話し合いを行いました。創徳中の生徒たちは各グループの進行役を務め、一人ひとりの意見を大切に取り上げながら、みんなが自分事として話し合いに参加できるよう工夫して会を進めていました。そのため、どのグループでも熱心な話し合いがなされ、人権に対する意識の高揚と強い思いが感じられました。ぜひフォーラムで学んだこと、感じたことを学校全体に広め、人権感覚あふれる居心地の良い学校づくりをめざしてほしいと思います。参加した生徒のみなさん、お疲れさまでした。



1年生では、人権フォーラムの事後学習として「学年交流会」を開催しました。まず、人権フォーラムに参加した生徒が話し合いの内容やそれが感じたこと、学んだことをみんなに伝えました。次に、「『仲間』とは自分にとってどんな存在か」や「仲間とつながるために自分にできること」についてみんなで考え、交流しました。最後に、学年でこれから取り組んでいくこと（「悪口は0、ほめ言葉を100言おう！週間」（※2/2～2/6）、「仲間の良いところ探し」）を確認しました。





入学説明会

生徒会による説明



1月21日(水)、令和8年度入学生を対象とした入学説明会を開催しました。入学予定の6年生のみなさんは少し緊張しながらも、真剣に説明を聴いていました。期待と不安の入り混じった気持ちは、生徒のみなさんも覚えがあるのではないでしょうか。あの頃の初心を思い出し、また新たな気持ちで頑張ってみるのもいいかもしれませんね。4月に1年生のみなさんは初めての、2年生のみなさんは最上級生として後輩を迎えることになります。憧れの先輩になってもらいたいなと思います。



朝、プール近くの丁字路で登校してくる生徒と朝の挨拶をすることが私の日課になっています。元気に挨拶をしてくれる生徒、遠慮がちに挨拶をしてくれる生徒、恥ずかしそうにうなずいてくれる生徒などさまざまですが、朝から挨拶を交わすことでも晴れやかな気分になります。中には「いつもありがとうございます」と声をかけてくれる生徒もいます。そんな朝のひと時は、「今日も一日頑張ろう」と思える大切な時間となっています。

「挨拶」の「挨」には、心を開くという意味があり、「拶」には、近づくという意味があるそうです。つまり、挨拶をすることは、自分の心を開いて、相手の心に歩み寄るという行為になるようです。そういう意味では、自分から挨拶をし、相手から挨拶が返ってくるということは、相手が心を開いてくれ、心が通じ合った嬉しい瞬間なのでは…と思っています。

先日、ある先生からこんな話を聞かせてもらいました。「創徳中学校の近くで働いている方から、『創徳中の生徒はいつも気持ちのいい挨拶をしてくれる』と言ってもらいました。とても嬉しかったです。」と。私もその話を聞いてとても嬉しく、誇らしく思いました。挨拶は、ほんの一瞬のやり取りかもしれません。でも、そこには人とのつながりがあり、自分の人生を豊かにできる力がある。私はそう思っています。

